
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより 第63号 (通巻第130号)

2007年11月27日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※ このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■ 第3回期間採用者等研修のご案内

今週の土曜日、「第3回期間採用者等研修」が、下記の日程により開催されます。教員を希望している学部生、卒業生など研修を受けたい方はどなたでも参加でき、受講料は無料です。関係者に広くご紹介ください。

【申し込み方法】

FAX: 055-220-8790、TEL: 055-220-8325、Web: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>、
メール: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jpのいずれかで。

日 時: 平成19年12月1日(土) 9:30~15:30 (一部17:30)

集合場所: 山梨大学 教育人間科学部 J号館5階 A会議室

プログラム: 研 修 1 (講 演)

「教師力の向上を目指すために」

梅本 澄雄氏 (元南アルプス市立豊小学校校長)

研 修 2 (校種別研修)

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりの実践」

小学校教育 : 太田 充氏 (甲斐市立双葉東小学校教頭)

中学校教育 : 佐藤喜美子氏 (笛吹市立浅川中学校教頭)

高等学校教育 : 小林 智氏 (市川高等学校教諭)

特別支援教育 : 寺西 修氏 (甲府支援学校教諭)

特別研修 (希望者のみ)

「教育現場の今日的課題」 曾根 修一氏 (本学非常勤講師)

■ 第4回教育臨床研究会のお知らせ

第4回教育臨床研究会では、12月5日(水)10時半より甲府市立南中学校の雨宮瑞穂教諭を講師にお招きし、「特別な教育的ニーズを考える—南中学校の支援について—」を予定しています。南中学校は県内で唯一の中学校における通級指導教室の実践をされています。申し込みは不要です。ご関心のある方はどうぞ直接会場(J号館5F多目的教室)にお出かけください。

■ 教育相談の状況について（山梨大学地域社会連携融合プロジェクト）

今年度の相談件数は、今年度から開始された「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」と附属学校園に対する相談を含めて211件（9月末現在）です。このうち、県との連携関係の相談件数は37件で、学校訪問を行ったケースもあります。保護者からの相談が最も多く、さらなる増加が予想されます。今後とも相談スタッフの先生方のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

■ 「教師のための教育相談」の報告書に関するお願い

教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。報告用紙は庶務事務室入り口左手の共通レターケースの中にあります。提出は随時受け付けておりますので、鳥海のレターケース（障害児教育講座）にお入れください。

■ 第3回連携・教育研究会のご報告

11月26日（月）、県総合教育センターにおいて、第3回連携・教育研究会を開催しました。今回は、総合教育センターからの情報及び研究の紹介ということで、内田淳研修主事をはじめ3名の先生方から「『読解力グループ』の研究の取組」の発表がありました。内田先生からは「教科指導等を通じたPISA型『読解力』の育成に関する研究」としてグループ研究の概要が話されました。続いて、橘田雅春研修主事から「古文の読みを深めて学習意欲を高める指導の工夫—PISA型『読解力』の視点を通して—」をテーマとした高校国語科の研究発表が、また、丸山一彦主幹・研修主事からは「PISA型『読解力』を視点として数学的な見方や考え方を育てる算数科の指導法の工夫—問題解決型の学習課程に論理的な思考活動の場面を位置づけて—」と題した小学校算数科の研究発表がありました。研究会では、質疑応答に続いて、本学国語教育講座岩永正史教授から、優れた実践は、読解する過程のボトムアップとトップダウンの二つの方法を活用していること、教師の教科観、学力観や知識・経験などをもとにそれを反映させた授業を行っていること、また、論理的思考力とメタ認知の関係など、具体的な例をもとに助言がありました。次回12月17日（月）には、総合教育センターからの「算数プロジェクトの取り組み」の発表をもとに研究を深める予定です。



これまでのセンターだよりの一部は<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/pub/nl/>で見ることができます。